

2021 年度 事業報告

2021 年度は、新たに始まる中期計画に沿い、with コロナに対応した New-normal な事業のカタチを模索する年となりました。

「**仿**心をつむぐ あしたを織る」を活動目標に、個々の事業をグループと事務局が一体となって進めることを重視し、全ての事業をSDGsの17の達成目標と関連付けて実施いたしました。

具体的には、コロナ禍で不特定多数の集客を目指したイベントや海外での活動が制限される中において、いまいちど身近な社会課題や環境問題を見つめ直すべく、孤立しがちな地域在住の外国人や子育てママ、高齢者の支援を進めたほか、あすて周辺の豊かな田園環境を再発見し次代に伝える活動などを行いました。

さらに、引き続き「ものづくり」をテーマにした事業にも力を入れ、間伐材を活用して製作したベンチをこども園などに寄贈したほか、クルマづくり究めるプロジェクトや未来学校において、未来のものづくりを担う人材の育成などにボランティアと共に取り組みました。

公益目的事業

(1) 地域の健全な発展を図るための事業

1 ものづくり事業

ア ものづくりプロジェクト

ものづくりをテーマにしたイベント等を開催し、ものづくりの魅力を広く県民に知ってもらうとともに、活動拠点の整備やボランティア機会の提供、紹介など、ものづくりボランティアの育成・支援を図るために以下の事業を実施いたしました。

① 「技能の伝承」

羅織の魅力を多くの人に知ってもらうために、YouTube を使った動画発信を行いました。

② 「からくり」

からくりの魅力を多くの人に知ってもらうために、年間を通してあすて本館内にて作品展示を行いました。

③ 「間伐材を使ったものづくり」

企業、団体等からの協賛をもとに間伐、製材、製品づくりをボランティアの手で行い、年間を通してこども園等に寄贈しました。

寄贈実績：通常ベンチ(高浜市内保育園に13脚)、幼児用ベンチ(豊田市内こども園ほかに14脚)

2 環境事業

ア 地球緑化プロジェクト

広く県民から公募し、あすてに登録されたボランティアが、砂漠化の進む中国 内モンゴルなどで植林活動を行ったり、イベントの開催を通して、県内で地球緑化に携わる団体の紹介や広く県民に地球緑化活動の大切さを伝えるための事業を実施いたしました。

イ 環境保全プロジェクト

豊田市内の山林や竹林で間伐作業を行い、その間伐材や竹を使って製品を作り、福祉施設等へ寄贈する。

その他、地域の清掃活動や花壇づくりを通して地域の環境美化に寄与するために以下の事業を実施いたしました。

① 「田園写真館」

あすて周辺の身近な環境の良さを再発見してもらうために、あすて HP 内の特設サイトにて田園風景の写真を発信しました。

② 「Do you 農？」

稲作を通して身近な環境の成り立ちについて学んでもらう機会を設けました。

期間：4月～10月の毎月1回、土曜日 or 日曜日の午前中(全7回)

参加人数：10名

3 福祉事業

ア 地域支援活動

一般県民から公募し、あすてに登録されたボランティアが主体となって、高齢者向けの講座（体操や絵手紙体験など）や子育て中のお母さん対象の講座（アート体験など）を行ったり、地域の福祉施設で慰問演奏を行うために以下の事業を実施いたしました。

① 「小さなお世話」

身近な地域課題を、楽しみながら解決することを目指し、健康クリーンウォーキングやマルシェを年間を通して開催しました。

イ チャリティー活動

一般県民から公募し、あすてに登録されたボランティアグループが主体となって、ベルマークなどの募金・収集活動やチャリティーコンサート、バザーなどを開催し、その収益は全額、難民支援や東日本大震災支援に寄付するために以下の事業を実施いたしました。

① 「あすてらんち」

ボランティアの手による利用者のためのランチづくりを年間を通して行いました。

② 「ミニバザー」

利用者同士が不用品等を持ち寄り随時販売できるコーナーを設けました。

③ 「チャリティーコンサート」

バイオリン(大倉彰人氏)とピアノ(市橋杏子氏)のコンサートを1月20日(木)に開催しました。

参加人数：56名

④ 「募金収集」

ベルマーク 19,599点、使用済み切手 350g、書き損じ・未使用ハガキ 217枚、文具多数を収集し寄付しました。

(2) 国際社会の健全な発展を図るための事業

1 国際交流事業

ア 文化交流

外国人と日本人が交流会や文化体験会等を通じて、互いの文化を理解し、違いを認め合える機会をつくるための事業を実施いたしました。

2 国際協力事業

ア 国際支援

カンボジアでの水質浄化活動と国際協力団体との連携による「世界の今」を知ってもらうためのイベントを以下の通り実施いたしました。

① 「水再生」

カンボジアの水質浄化のための浄水器の開発を行いました。

② 「Kids smile」

7月18日(日)と3月6日(日)に、日本人の親子対象の遊び講座を開催し、カンボジアの教育の現状についても学んでもらう機会を設けました。

参加人数：計60名

ア 異文化理解

外国人が日本人とともに日本語や日本文化の学習、体験をするために以下の事業を実施いたしました。

① 「Let's get together」

地域に住む外国人が、互いに助け合える環境づくりを考えるとともに、年間を通して日本語の習得のサポートなどを行いました。

② 「華僑華人家」

中国人同士の共助を目的として、「環境」「健康」「教育」などをテーマにしたセミナーを年間を通して開催しました。

(3) 未来につながる担い手の育成を図るための事業

1 担い手育成事業

ア 担い手づくり

地域の技術者が青少年にクルマづくりを教えたり（クルマづくり究めるプロジェクト）、男性の保育士が子育て講座を開催したりする機会を提供し、また、企業の社員を対象にボランティア研修の機会を提供するために以下の事業を実施いたしました。

① 「クルマづくり究めるプロジェクト」

開催期間：月3回程度土曜日(基礎コース18回 究めるコース23回 きんとうんコース23回)

内容：子どもたちが、達人からクルマづくりを通して、ものづくりの技と心を学ぶ。

豊田市との共催事業。

参加者数：生徒83名 ボランティア：240名

② 「おむすびプラス」

バケツ稲作を通して親子の絆をむすびました。(全7回)

③ 「未来学校」

子どもたちにもものづくりの楽しさを知ってもらうために、10月17日(日)と12月19日(日)にものづくり教室(チャレンジクラブ)を開催しました。

参加人数：計12名

2 チャレンジ事業

ア 新企画創出推進

青少年が主体的に夢に挑戦し、実現するために場の提供や助言、相談対応などを行いました。

(4) 豊かな人間性を涵養するための事業

1 支援事業

ア 啓発

ボランティアへの意識向上につながる研修や集会を以下の通り実施いたしました。

① 「はじめの会」

4月3日(土)に、グループの代表者に参加していただき、新年度の事業の説明等を行いました。

参加人数：43名

② 「あすての日」

あすての設立記念日である12月11日(土)に、理事長メッセージと木製カローラの走行の様子を映像配信いたしました。

③ 「サテライトあすて」

外部でのグループ活動の際に、ミニフラッグなどを活用し、あすてのPRに務めました。

イ 活動支援

活動場所の貸与を行いました。

・登録グループ数：38グループ 登録延べ人数：659名

ウ 相談対応・指導

ボランティア活動における助言、指導などを行いました。

2 広報事業

ア 広報

リーフレット、ホームページ、通信、掲示等によるあすての事業やボランティア活動の広報を行いました。